

第 42 回 岩手育種談話会・第 20 回植物生命科学セミナー

第42回岩手育種談話会・第20回植物生命科学セミナーを下記の要領で開催致します。今回の談話会は弘前大学の赤田辰治氏、山形大学の笹沼恒男氏に下記のテーマで話題提供していただくことにしました。皆様の御参加をお願い申し上げます。また学生の参加を歓迎します。

本談話会は岩手農林研究協議会（AFR）及び植物生命科学セミナーとの共催で開催されます。

1. 赤田 辰治 氏（弘前大学農学生命科学部）

「ヤマモミジにおける紅葉の色合いと *GT* (*GLYCOSYL TRANSFERASE*) 発現量の季節的变化」

2. 笹沼 恒男 氏（山形大学農学部）

「コーカサス地方におけるコムギDゲノム祖先種タルホコムギの遺伝的特徴と製パン性について」

日 時：2019年3月14日(木)15:45~17:15

場 所：岩手大学農学部2番講義室（農学部北講義棟）

内容1：秋に鮮やかな紅葉を呈するヤマモミジではあるが、その色付きの季節変動は個体によって様々である。アントシアニン合成経路の最終段階に働く *GT* の発現変動にも同様の個体差が見られたことから遺伝的変異が推察される。その生態学的意味について考えたい。

内容2：タルホコムギ (*Aegilops tauschii*) はパンコムギのDゲノム供与親となった野生種であり、高い製パン性を始めとする有用形質を栽培コムギにもたらしたとされる。タルホコムギの多様性中心とされるコーカサス地方で2010年代に採集した新規遺伝資源の遺伝的特徴と、タルホコムギ自身の製パン性がどうなっているのかについて紹介する。

講演終了後に、講師のお二人を囲んでの情報交換会を会費2000円で行います。情報交換会にご参加の方は準備の都合上、以下の連絡先に3月11日(月)までにご連絡下さい。こちらの方も是非ご参加下さるようお願いいたします。

連絡先：岩手大学農学部 畠山勝徳・高畑義人 (TEL: 0196-621-6152, 6151)
e-mail: khatake@iwate-u.ac.jp, ytakahata@iwate-u.ac.jp